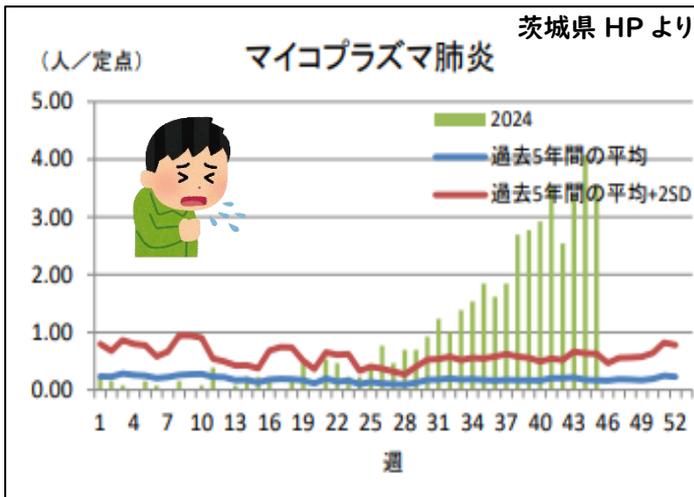




【12月の保健行事】
11日(水) スマホ・ケータイ安全教室
(4年生・7年生)
18日(水) 薬物乱用防止教育(5年)

11月も下旬になり、朝晩かなり冷え込む日が増えて、いよいよ冬本番を感じさせます。県内でも、様々な感染症が流行しています。下記に茨城県感染症状況を載せましたので、予防にご協力くださいますようお願いいたします。

茨城県内 感染症状況

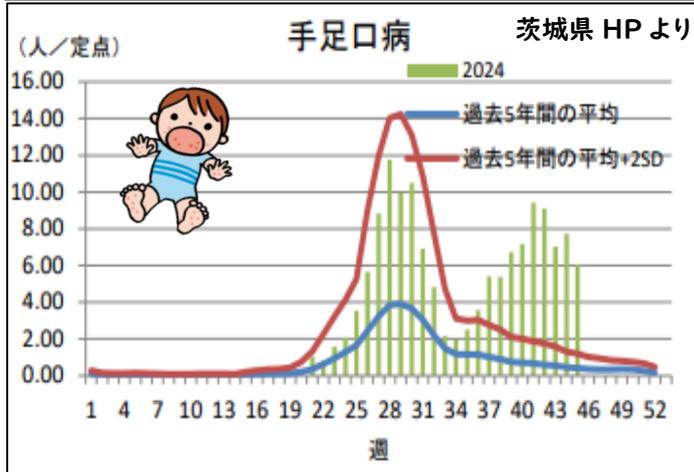


マイコプラズマ肺炎

過去5年間の平均を、大きく上回っています。**全国的に増加傾向が続いており、今後も注意が必要です。**

マイコプラズマ肺炎とは

- ★病原体…肺炎マイコプラズマという細菌
- ★潜伏期間…2~3週間と比較的長い
- ★感染経路…感染した人の咳やくしゃみなどのしぶきに含まれる病原体を吸い込むことによる感染(飛沫感染)や、病原体が付着した手で、口や鼻に触れることによる感染(接触感染)がある。
- ★症状…発熱やだるさ、頭痛、咳などの症状がみられる。咳は熱が下がった後も長期にわたって(3~4週間)続くのが特徴。多くの人は感染しても気管支炎ですみ、軽い症状が続くが、一部の人は肺炎となり、重症化することもある。また、中耳炎、胸膜炎、心筋炎、髄膜炎、脳炎などの合併症がみられることもある。



手足口病

引き続き、警報レベルを上回る報告数となっております、注意が必要です。

手足口病とは

- ★病原体…コクサッキーウイルス、エンテロウイルスなど
- ★潜伏期間…3~5日
- ★感染経路…主な感染経路は、飛沫感染と、水泡の内容物や便に排出されたウイルスが手などを介し、口などの粘膜に入り感染する経口・接触感染。
- ★症状…口の粘膜・手のひら・足の甲または裏などに 2~3mm の水泡性の発疹が現れる。発熱は約 3 分の 1 にみられるが、高熱になることはあまりない。一般的に軽症で、発疹は 3~7 日で痂皮(かさぶた)を残さずに消失する。ごくまれに、髄膜炎や脳炎などの合併症がおこることがあるので、注意が必要。
※症状が消えた後も、比較的長い期間、便の中にウイルスが排泄されることがあるので、日頃からのしっかりとした手洗いが大切です。

予防は…



受診のお願いと出席停止について

本校でも、手足口病、マイコプラズマ肺炎などの感染症の報告があります。手・足・口などの発疹や長引く咳の場合は、医療機関を受診して医師の診断を受けられますようお願いいたします。また、罹患した場合は、出席停止となりますので、学校までご連絡ください。出席停止期間は主治医の指示に従ってください。